



## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月24日

上場会社名 株式会社 安川電機 上場取引所 東証一部・福証  
 コード番号 6506 URL <http://www.yaskawa.co.jp/>  
 代表者 役職名 取締役社長 氏名 利島 康司  
 問合せ先責任者 役職名 人事総務部長 氏名 樋口 善久  
 兼広報グループ長 TEL (093) 645-8810

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年3月21日～平成19年12月20日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	274,956	3.8	25,048	10.6	25,438	11.0	14,570	8.0
19年3月期第3四半期	265,005	16.1	22,657	62.8	22,908	63.4	13,494	134.2
19年3月期	368,971		33,564		33,383		18,982	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	58.86	57.88
19年3月期第3四半期	58.13	51.70
19年3月期	81.12	75.29

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	280,059	103,003	34.8	387.27
19年3月期第3四半期	269,507	71,506	24.6	285.89
19年3月期	273,180	86,242	29.6	331.94

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	12,807	△ 6,800	△ 7,604	11,486
19年3月期第3四半期	9,066	△ 3,609	△ 6,699	12,008
19年3月期	14,990	△ 6,119	△ 8,960	13,214

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	3.00	3.00	6.00
20年3月期(実績)	5.00	—	
20年3月期(予想)	—	5.00	10.00

### 3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年3月21日～平成20年3月20日)

平成19年10月17日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	383,000 3.8	37,000 10.2	37,000 10.8	20,000 5.4	80.79

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(参考)

1. 平成20年3月期第3四半期の個別業績(平成19年3月21日～平成19年12月20日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	156,297	2.1	10,053	32.5	15,301	16.2	10,394	10.1
19年3月期第3四半期	153,033	16.7	7,589	116.5	13,171	59.1	9,437	268.2
19年3月期	216,268		14,139		19,828		12,860	

	1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭
20年3月期第3四半期	41.94
19年3月期第3四半期	40.56
19年3月期	54.86

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	187,551	66,971	35.7	265.77
19年3月期第3四半期	182,830	42,561	23.3	182.95
19年3月期	185,651	54,125	29.2	222.14

2. 平成20年3月期の個別業績予想(平成19年3月21日～平成20年3月20日)

平成19年10月17日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	222,000	2.7	16,500	16.7	22,000	11.0	14,000	8.9	56.48

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項  
 上記の業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は見通しとは異なることがあり得ます。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年3月21日から平成19年12月20日）における世界経済は、欧州及びアジアでは概ね堅調に推移しましたが、米国の住宅ローン問題や為替の急激な変動、原油価格の高騰などにより、不透明感が強まってまいりました。

また、当社グループの主要関連業界別では、電子部品業界は堅調に推移し、空調業界や鉄鋼業界は好調を持続しましたが、液晶業界では一部で設備投資再開の動きが出てきたものの低調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループは、中期経営計画“ダッシュ100”の2年目にあたる今年度を、その目標達成に向けて強力な地盤づくりを行う年と位置づけ、付加価値を高め、競争力を強めた新製品の市場投入を行い、開発力・営業力・生産力の総合力を活かした拡販とシェアの拡大に努めるとともに、製品品質向上の活動強化、人材育成等の諸施策を実行してまいりました。

この結果、当社グループの業績につきましては、前年同期比で増収増益となりました。

	平成19年度第3四半期（前年同期比）	
売上高	2,749億56百万円	（3.8%増）
営業利益	250億48百万円	（10.6%増）
経常利益	254億38百万円	（11.0%増）
四半期純利益	145億70百万円	（8.0%増）

セグメント別の状況はつぎのとおりです。

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業損益（前年同期比）
モーションコントロール	1,323億87百万円（10.6%増）	161億36百万円（6.0%増）
ロボット	896億3百万円（0.1%増）	61億円（0.6%増）
システムエンジニアリング	324億15百万円（2.2%増）	15億1百万円（21億35百万円増）
情報	152億59百万円（17.2%減）	△1億38百万円（6億66百万円減）
その他	52億89百万円（5.9%減）	15億51百万円（8.5%増）

〔モーションコントロール〕

ACサーボ・コントローラは、新製品投入や拡販強化等の施策の効果もあり、電子部品業界向け等が堅調に推移し、液晶業界向けも需要回復の兆しが見えてまいりました。

インバータは、国内外の空調設備向けや海外におけるインフラ投資の拡大により、前年度に引き続き好調に推移いたしました。

〔ロボット〕

自動車業界向けを中心とする溶接、ハンドリング、塗装ロボット等は、国内及び欧州向けが堅調に推移いたしました。また、液晶業界の投資再開の動きも見えてまいりました。

〔システムエンジニアリング〕

好調を続けている鉄鋼業界の設備投資増加を受注・売上・利益に結びつける活動が奏功したことにより、大幅に業績を改善いたしました。

〔情報〕

製造業向け生産・販売管理システムの構築等は堅調に推移いたしました。液晶業界向けの需要低迷や特定用途向け端末機器の減少の影響を大きく受けました。

〔その他〕

当部門には物流サービス、人材派遣等の事業が含まれております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

資産の部では、主として受取手形及び売掛金が前年同期末比 103 億円増加したことにより、資産合計は、前年同期末比 105 億 52 百万円増の 2,800 億 59 百万円となりました。

負債の部では、短期借入金および長期借入金がそれぞれ前年同期末比37億83百万円、38億11百万円減少したことに加え、新株予約権付社債が142億68百万円減少したこと等により、負債合計は、前年同期末比209億44百万円減の1,770億56百万円となりました。

純資産の部では、新株予約権付社債の新株予約権の行使等により資本金および資本剰余金がそれぞれ前年同期末比71億53百万円、72億72百万円増加したことや、利益剰余金が前年同期末比181億34百万円増加したこと等により、純資産合計は、前年同期末比314億96百万円増の1,030億3百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期末と比べて5億22百万円減少し、114億86百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、128億7百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益249億41百万円、法人税等の支払額100億48百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、68億円の支出となりました。主として有形固定資産等の取得による支出60億94百万円によるものであります。

この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、60億7百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、76億4百万円の支出となりました。これは借入金の返済に加え、配当金の支払等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年10月17日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、平成19年12月21日から平成20年3月20日までの期間における為替レートは、平均110円/米ドル、平均145円/ユーロを想定しております。

	平成20年3月期見通し	前期比
売上高	3,830 億円	140 億 29 百万円増 ( 3.8%増)
営業利益	370 億円	34 億 36 百万円増 (10.2%増)
経常利益	370 億円	36 億 17 百万円増 (10.8%増)
当期純利益	200 億円	10 億 18 百万円増 ( 5.4%増)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当する事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

固定資産の減価償却の方法や棚卸資産の評価の方法などについて一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

中間連結財務諸表作成の基本となる重要な事項の変更に相当する会計処理の方法の変更はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	平成19年3月期第3四半期 (平成18年12月20日現在)		平成20年3月期第3四半期 (平成19年12月20日現在)		増 減 (B) - (A)	平成19年3月期 (平成19年3月20日現在)	
	金額 (A)	構成比	金額 (B)	構成比		金額	構成比
		%		%			%
(資産の部)							
流動資産	185,682	68.9	193,728	69.2	8,045	187,760	68.7
現金及び預金	12,159		11,635		△ 524	13,356	
受取手形及び売掛金	85,616		95,916		10,300	99,231	
たな卸資産	67,283		65,269		△ 2,014	58,136	
その他流動資産	20,622		20,906		284	17,035	
固定資産	83,824	31.1	86,331	30.8	2,506	85,419	31.3
有形固定資産	39,145		41,447		2,301	39,795	
無形固定資産	7,454		6,797		△ 656	7,679	
投資その他の資産	37,224		38,085		861	37,945	
資産合計	269,507	100.0	280,059	100.0	10,552	273,180	100.0
(負債の部)							
流動負債	128,185	47.6	136,342	48.7	8,157	137,278	50.2
支払手形及び買掛金	71,530		70,670		△ 859	69,318	
短期借入金	24,122		20,338		△ 3,783	23,111	
1年内償還予定の社債	-		10,000		10,000	10,000	
その他流動負債	32,532		35,332		2,800	34,848	
固定負債	69,815	25.9	40,713	14.5	△ 29,101	49,659	18.2
社債	10,000		-		△ 10,000	-	
新株予約権付社債	14,268		-		△ 14,268	6,200	
長期借入金	8,741		4,930		△ 3,811	7,439	
退職給付引当金	35,581		34,213		△ 1,368	34,912	
その他固定負債	1,223		1,569		345	1,108	
負債合計	198,000	73.5	177,056	63.2	△ 20,944	186,938	68.4
(純資産の部)							
株主資本	60,125	22.3	92,677	33.1	32,551	73,897	27.1
資本金	15,908		23,062		7,153	19,953	
資本剰余金	11,379		18,651		7,272	15,489	
利益剰余金	33,181		51,316		18,134	38,736	
自己株式	△ 344		△ 352		△ 8	△ 282	
評価・換算差額等	6,241	2.3	4,804	1.7	△ 1,437	6,890	2.5
その他有価証券評価差額金	4,505		2,884		△ 1,621	4,619	
繰延ヘッジ損益	△ 17		0		18	△ 8	
為替換算調整勘定	1,753		1,918		165	2,280	
少数株主持分	5,139	1.9	5,521	2.0	382	5,454	2.0
純資産合計	71,506	26.5	103,003	36.8	31,496	86,242	31.6
負債及び純資産合計	269,507	100.0	280,059	100.0	10,552	273,180	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成19年3月期第3四半期 〔自平成18年3月21日 至平成18年12月20日〕		平成20年3月期第3四半期 〔自平成19年3月21日 至平成19年12月20日〕		増 減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
	金 額 (A)	構 成 比	金 額 (B)	構 成 比		
			%		%	
売 上 高	265,005	100.0	274,956	100.0	9,950	103.8
売 上 原 価	188,599	71.2	195,075	70.9	6,475	103.4
売 上 総 利 益	76,405	28.8	79,880	29.1	3,475	104.5
販売費及び一般管理費	53,748	20.3	54,831	19.9	1,083	102.0
営 業 利 益	22,657	8.5	25,048	9.1	2,391	110.6
営 業 外 収 益	1,845	0.7	1,894	0.7	49	102.7
(受取利息及び配当金)	(456)		(483)		(26)	
(為替差益)	(220)		(-)		(△220)	
(持分法投資利益)	(599)		(1,048)		(449)	
(雑収入)	(568)		(362)		(△205)	
営 業 外 費 用	1,593	0.6	1,504	0.5	△ 89	94.4
(支払利息)	(905)		(882)		(△23)	
(為替差損)	(-)		(374)		(374)	
(雑支出)	(687)		(247)		(△439)	
経 常 利 益	22,908	8.6	25,438	9.3	2,530	111.0
特 別 利 益	3,100	1.2	122	0.0	△ 2,977	3.9
特 別 損 失	4,561	1.7	619	0.2	△ 3,941	13.6
税金等調整前四半期純利益	21,446	8.1	24,941	9.1	3,494	116.3
法人税、住民税及び事業税	4,952	1.9	8,526	3.1	3,573	172.2
法人税等調整額	2,368	0.9	1,578	0.6	△ 790	66.6
少数株主利益	631	0.2	266	0.1	△ 364	42.2
四 半 期 純 利 益	13,494	5.1	14,570	5.3	1,075	108.0

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	平成19年3月期第3四半期	平成20年3月期第3四半期	増 減
		(自平成18年3月21日 至平成18年12月20日)	(自平成19年3月21日 至平成19年12月20日)	
		金 額 (A)	金 額 (B)	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1 税金等調整前四半期純利益		21,446	24,941	3,494
2 減価償却費		5,095	5,492	397
3 固定資産減損損失		2,030	301	△ 1,729
4 売上債権の増減額		△ 3,367	△ 1,045	2,321
5 たな卸資産の増減額		△ 8,686	△ 7,342	1,344
6 仕入債務の増減額		3,605	1,041	△ 2,564
7 法人税等の支払額		△ 7,043	△ 10,048	△ 3,005
8 その他		△ 4,015	△ 532	3,482
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,066	12,807	3,740
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 有形固定資産等の取得による支出		△ 5,895	△ 6,094	△ 198
2 有形固定資産等の売却による収入		1,068	168	△ 899
3 投資有価証券等の取得による支出		△ 540	△ 1,224	△ 683
4 投資有価証券等の売却による収入		188	50	△ 137
5 関連会社株式の売却による収入		1,792	-	△ 1,792
6 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入		-	165	165
7 その他		△ 222	132	354
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,609	△ 6,800	△ 3,191
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1 短期借入金の純増減額		△ 3,517	△ 1,433	2,083
2 長期借入による収入		3,715	335	△ 3,380
3 長期借入金の返済による支出		△ 4,603	△ 4,309	294
4 親会社の配当金の支払額		△ 2,093	△ 1,990	102
5 少数株主への配当金の支払額		△ 161	△ 180	△ 19
6 その他		△ 38	△ 24	14
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 6,699	△ 7,604	△ 904
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		173	△ 157	△ 331
V 現金及び現金同等物の増減額		△ 1,068	△ 1,755	△ 686
VI 現金及び現金同等物の期首残高		12,102	13,214	1,112
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加		975	27	△ 948
VIII 現金及び現金同等物の期末残高		12,008	11,486	△ 522

（4）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

平成19年3月期第3四半期（自平成18年3月21日 至 平成18年12月20日）

（単位：百万円）

	モーション コントロール	ロボット	システム エンジニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する売上高	119,686	89,544	31,728	18,421	5,623	265,005	-	265,005
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,802	304	2,078	2,231	13,705	32,123	△ 32,123	-
計	133,489	89,849	33,807	20,653	19,329	297,129	△ 32,123	265,005
営 業 費 用	118,260	83,783	34,441	20,125	17,899	274,509	△ 32,160	242,348
営業利益又は損失(△)	15,229	6,066	△ 634	528	1,430	22,620	36	22,657

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

2. 名称を「ロボティクスオートメーション」から「ロボット」に変更しております。なお、これによる影響はありません。

3. 会計方針の変更

- (1) 「役員賞与に関する会計基準」を適用しております。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結会計期間の営業費用は、モーションコントロールが46百万円、ロボットが25百万円、システムエンジニアリングが18百万円、情報が15百万円、その他が14百万円それぞれ増加し、営業利益はそれぞれ同額減少しております。
- (2) 役員退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、規程に基づく第3四半期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結会計期間の営業費用は、モーションコントロールが40百万円、ロボットが26百万円、システムエンジニアリングが18百万円、その他が5百万円それぞれ増加し、営業利益はそれぞれ同額減少しております。
- (3) 在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、期中平均相場による円貨換算に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結会計期間の売上高はモーションコントロールが1,409百万円、ロボットが802百万円、情報が0百万円、それぞれ減少し、営業費用は、モーションコントロールが1,272百万円、ロボットが785百万円、情報が0百万円、それぞれ減少し、営業利益はモーションコントロールが136百万円、ロボットが16百万円、情報が0百万円、それぞれ減少しております。

平成20年3月期第3四半期（自平成19年3月21日 至 平成19年12月20日）

（単位：百万円）

	モーション コントロール	ロボット	システム エンジニアリング	情報	その他	計	消去又は全社	連 結
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する売上高	132,387	89,603	32,415	15,259	5,289	274,956	-	274,956
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,860	312	1,994	2,390	14,292	34,849	△ 34,849	-
計	148,248	89,915	34,409	17,649	19,582	309,805	△ 34,849	274,956
営 業 費 用	132,112	83,815	32,908	17,787	18,030	284,654	△ 34,747	249,907
営業利益又は損失(△)	16,136	6,100	1,501	△ 138	1,551	25,151	△ 102	25,048

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用する区分によっております。

〔所在地別セグメント情報〕

平成19年3月期第3四半期(自平成18年3月21日至平成18年12月20日) (単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	171,832	39,226	32,392	21,554	265,005	-	265,005
(2) セグメント間の内部売上高	40,631	169	270	7,822	48,894	△ 48,894	-
計	212,463	39,396	32,663	29,377	313,900	△ 48,894	265,005
営業費用	198,093	35,446	30,978	26,596	291,115	△ 48,766	242,348
営業利益	14,369	3,949	1,684	2,781	22,785	△ 127	22,657

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。
- (1) 米州 米国等
  - (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、イギリス等
  - (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
3. 会計方針の変更
- (1) 「役員賞与に関する会計基準」を適用しております。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結会計期間の営業費用は、日本が120百万円増加し、営業利益は同額減少しております。
  - (2) 役員退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、規程に基づく第3四半期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。この結果、従来の方法に比べ、当第3四半期連結会計期間の営業費用は、日本が90百万円増加し、営業利益は同額減少しております。
  - (3) 在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、期中平均相場による円貨換算に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結会計期間の売上高は米州が133百万円、欧州が1,500百万円、アジアが640百万円、それぞれ減少し、営業費用は米州が122百万円、欧州が1,418百万円、アジアが580百万円、それぞれ減少し、営業利益は米州が10百万円、欧州が82百万円、アジアが60百万円それぞれ減少しております。

平成20年3月期第3四半期(自平成19年3月21日至平成19年12月20日) (単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	168,803	35,216	41,250	29,686	274,956	-	274,956
(2) セグメント間の内部売上高	45,097	127	329	7,609	53,163	△ 53,163	-
計	213,900	35,343	41,579	37,295	328,119	△ 53,163	274,956
営業費用	198,892	31,959	38,136	34,020	303,008	△ 53,101	249,907
営業利益	15,008	3,383	3,443	3,274	25,110	△ 61	25,048

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。
- (1) 米州 米国等
  - (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、イギリス等
  - (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等

〔海外売上高〕

平成19年3月期第3四半期（自 平成18年3月21日 至 平成18年12月20日）（単位：百万円）

	米 州	欧 州	ア ジ ア	そ の 他	計
I 海外売上高	40,691	33,636	47,210	964	122,504
II 連結売上高	—	—	—	—	265,005
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	15%	13%	18%	0%	46%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、イギリス等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
- (4) その他 オーストラリア等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4. 会計方針の変更

在外子会社等の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨換算しておりましたが、期中平均相場による円貨換算に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結会計期間の海外売上高は米州が128百万円、欧州が1,475百万円、アジアが534百万円、その他が8百万円、連結売上高は2,145百万円それぞれ減少しております。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合に対する影響は軽微であります。

平成20年3月期第3四半期（自 平成19年3月21日 至 平成19年12月20日）（単位：百万円）

	米 州	欧 州	ア ジ ア	そ の 他	計
I 海外売上高	39,310	42,275	56,166	905	138,658
II 連結売上高	—	—	—	—	274,956
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	14%	15%	21%	0%	50%

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

- (1) 米州 米国等
- (2) 欧州 ドイツ、スウェーデン、イギリス等
- (3) アジア 中国、シンガポール、韓国等
- (4) その他 オーストラリア等

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。